



Japan Commerce Association of Washington, D.C., Inc.

## ワシントン日本商工会会報

12月号 2025年 No. 578

## 目次

- 2026 ワシントン新春祭りのご案内.....2
- 会員紹介コーナー.....3
- 新会員紹介コーナー.....5
- 第30回 商工会テニス&ポトラック・パーティー  
開催報告.....7
- ワシントンで働く女性の会(J-WIP)  
第32回 活動報告.....9
- 広告募集のご案内.....11
- ワシントン月報(第215回)「服部自叙伝(4)」  
米国特許弁護士 服部 健一.....12
- 今月の書籍紹介「言葉だけではない」  
ポトマック・アソシエーツ 池原 麻里子.....15
- English Rescue by Jennifer  
「Language and Culture」.....17
- 編集後記.....19

JCAW Copyright © 2025 All Rights Reserved.  
会報内すべてのコンテンツの無断転用を禁じます。

## 今月の特集

## 2026 ワシントン新春祭りのご案内

来年1月25日に新春祭りを開催いたします。獅子舞や和太鼓の上演、お子様が楽しめるゲームコーナーやフードコートなどもございます。皆様のご来場を心よりお待ちしております！ P.2



## 「会員・新会員紹介コーナー」

今月は理事会社のアフラックさまより事業活動のご寄稿と、新会員の方々からもご紹介文をいただきました。P.3 ～



## 「第30回商工会テニス&amp;ポトラック・パーティー開催報告」

毎年大好評をいただいております本イベントを、今年も無事に開催することができました。前回同様、人気急上昇中のピクセルボールコートも設け、皆様にはポトラックの美味しい手料理やスポーツを通して楽しくネットワーキングいただけたと思います。P.7～



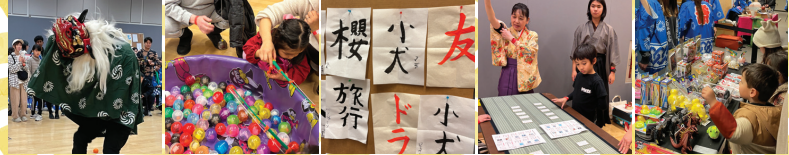
## 「ワシントンで働く女性の会(J-WIP)第32回 活動報告」

第32回のJ-WIPは、米連邦議会下院歳入委員会で民主党首席通商顧問のアレクサンドラ・ウィテカー氏を講師に、またWIIT代表のサラ・シュレデン氏をモデレーターにお迎えし、米国の通商政策に関してご講演いただきました。P.9～

# 2026 ワシントン 新春祭り



## Japanese New Year Celebration *in Washington*



Study Japanese in Arlington, たんぽぽ学園、ワシントン日本語学校、ワシントン日本商工会 共催  
在アメリカ合衆国日本国大使館 後援

Co-hosted by Study Japanese in Arlington, Tanpopogakuen, Washington Japanese Language School, JCAW  
(Japan Commerce Association of Washington, D.C.)

Supported by Embassy of Japan in the United States of America

2026年1月25日(日) 午前11時～午後3時・January 25, 2026 (Sun), 11am to 3pm

会場マップ・Map



場所 George Mason University Mason Square (Arlington Campus)  
Venue 3351 Fairfax Dr, Arlington, VA 22201

メトロ バージニアスクエア駅から徒歩5分と好アクセス!

Just a 5-minute walk from Virginia Square Metro Station—convenient location!

大学内に駐車場スペース有り \$10/日 近辺に路上駐車スペースも有り(日曜日は無料)

Parking spaces available on campus: \$10/day. Additionally, street parking is available nearby (free on Sundays).

ペットの入場不可、補助犬の入場は可。No pets allowed except service animals.

入場料 Admission	前売り・Pre-sale	当日・Same Day
大人・Adult	\$16	\$21
子供(12歳以下) Children 12 and under	\$6	\$11
子供(6歳以下) Children 6 and under	Free	Free

入場券購入ポータル・

Admission Ticket Purchase Portal

<https://secure.acceptiva.com/?cst=hmbtgz>

\* 料金には1ドルの手数料が含まれています。  
The fee includes a \$1 processing charge.



お問い合わせ・Contact:

ワシントン日本商工会事務・JCAW Office | [office@jcaw.org](mailto:office@jcaw.org)

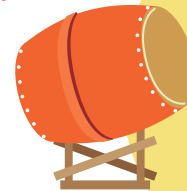
昨年好評の獅子舞に加え、迫力ある和太鼓パフォーマンスも登場!  
日本の伝統遊びを体験できるゲームコーナーや、軽食を購入できるフードコート、  
日本のお菓子販売も予定しています。

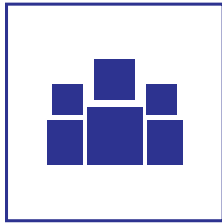
<!キャッシュレス決済!> 玩具やお菓子、軽食などの支払いは、キャッシュレス  
決済のみとなります。

In addition to the popular *Shishimai* dance from last year, we are  
pleased to present a Japanese taiko drum performance.  
We are also planning to feature a game corner where you can  
experience traditional Japanese games, a food court where you can  
purchase light meals, and Japanese sweets for sale.

<!Cashless Payment!> Payment for toys, snacks, refreshments, etc.  
is cashless only.

獅子舞もくるよ~!  
和太鼓演奏も!





## 会員紹介コーナー

今月は理事会社のAflac International, Inc.さまより 事業活動を紹介頂きました。会員間の親睦を深めるため、今後も、新規、並びに既存会員の皆様のご紹介を続けていきたいと思ひます。皆様からの寄稿もお待ちしております。お気軽に事務局([office@jcaw.org](mailto:office@jcaw.org))までご連絡ください！



法人名: Aflac International, Inc.

代表者: 菱川摩貴

📍 800 Connecticut Ave NW, Suite 1001, Washington DC 20006

🌐 <https://www.aflac.co.jp/>



アフラックは、1955年に米国ジョージア州コロンバス市で設立され、1958年に世界初となるがん保険の開発、販売を開始しました。以後、アフラックの主要な事業は補完医療保険及び生命保険事業であり、米国ではアフラックは補完医療保険No.1、日本ではがん保険・医療保険の保有契約件数における最大手の会社となっています。日本におけるアフラック(以下、アフラック生命)は、1974年に「がんに苦しむ人々を経済的苦難から救いたい」との想いから、それまで日本には存在しなかったがんに関する治療のみを保障する「がん保険」を提供する保険会社として創業しました。2024年末時点で、約1,400万人のお客様にご契約いただき、がん罹患されたお客様に対して累計で9兆円以上の給付金や保険金をお支払いしています。



アフラック米国本社が米連邦政府レベルで補完医療保険の理解を深めるため、ワシントン事務所を設立したのは1990年代までさかのぼります。アフラックインターナショナル(当社)がワシントンDCに常駐スタッフを置いて活動を始めたのは15年前、現当社ワシントン所長がアフラックに入社した時になります。当社はワシントンDC

のほか、本社ジョージア州コロンバス、東京で活動し、グループ内では、関連会社の経営管理支援業務およびグローバル経済のアジェンダや国際機関に関連する課題にグループを代表して対応しています。



とくに当社ワシントン事務所では、日本に大きな拠点を持つ企業の観点から、アフラック生命に関連する国際動向について、米国政治経済・政策規制動向を中心に情報収集・分析、およびエンゲージメント活動を行っています。日本の事業が大きいアフラックにとって日米関係の強化への貢献は最優先事項の一つです。今年10月、アフラック生命代表取締役会長・当社社長チャールズ・D・レイクが「日米関係の強化に貢献した」としてワシントン日米協会からマーシャル・グリーン賞を受賞しました。その時ご紹介したアフラックのダック米国版と日本版と一緒に、これからもワシントン事務所の活動を通し、日米関係の強化、進化に少しでも貢献できればと思います。



## iii career インテレッセ DC支店

### 地域密着で25年の信頼と実績

「人・仕事・地域社会」をつなぐ架け橋に  
お客様一人ひとりに寄り添い、  
信頼できるパートナーとしてサポート。

**Interesse DCオフィスは、皆様のおかげで25年を迎えました！日英バイリンガル人材の派遣・紹介を通じてWashington, DC地域の特性やニーズを理解し、きめ細やかなサービスを提供します。**

#### 当社の強み

- バイリンガル人材のニーズに特化
- 地域密着で安心のサービス
- 政府機関から民間企業まで幅広く対応

#### 提供サービス

- iicareer事業：人材紹介・派遣、雇用代行サービス
- iiiHR事業：人事コンサルティング、人事情報管理クラウドサービス、各種調査業務
- iii-Media事業：地域情報満載の「さくら新聞」の発行

**interesse international inc. DC支店までお気軽にご相談ください！**

Email: dc@iicareer.com Tel: 571-384-7117  
1717 K Street NW Suite 900, Washington, DC 20006





## 新会員紹介コーナー

新規会員の自己紹介ページです。今月は個人会員一名と企業会員一社から紹介文をいただきました。前項にご紹介しましたように、既存会員による自己紹介機会もございますので、お気軽に事務局([office@jcaw.org](mailto:office@jcaw.org))までご連絡下さい。

会員名: 江あき

[aki@av.vc](mailto:aki@av.vc)

### 自己紹介・入会動機



スタンフォード大学院留学のために渡米し、サンフランシスコのベンチャーキャピタルで6年ほど勤めていたのですが、家族の事情で9月にDCに引っ越しました。現在はAlumni Venturesというベンチャーキャピタルファンドでスタートアップ投資の仕事を行っております。DCには引っ越したばかりで知り合いも少ないので、日系の皆様と繋がれたら嬉しいです。テニス・ピククルボール・パデルを一緒にやってくれる友人を募集しています。

... 新会員紹介コーナー事項に続く

**INTERNATIONAL  
MOVING SERVICE**

お荷物の多い方! 時間のない方!  
面倒なお引越は全てまかせて  
ら〜くらく!

**安心**

**引越 ら〜くらく 海外パック**

箱に入らない家具や  
自転車なども送りたい、だ〜と安く  
済ませたい! そんな方へ

**丁度いい**

**ベーシックプラン**

定形の箱に入るお荷物だけ  
ご自身で梱包をして節約!  
すぐに必要ではない  
お荷物は船便で割安に

**節約**

**単身プランSea**

定形の箱に入るお荷物だけ  
ご自身で梱包をされる方  
必要な荷物を  
最短の所要日数でお届け

**早い**

**単身プランAir**

各サービスの詳細はウェブサイトにてご覧いただけます!

[www.yamatoamerica.com/cs/](http://www.yamatoamerica.com/cs/)

フリーダイヤル  
**1-866-5-KIKOKU**

日本以外の世界中へのお引越・米国内のお引越も!

米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店  
22930 Quicksilver Drive, Unit 115  
Dulles VA, 20166  
Phone: (703) 661-3501  
Email: [wasoperat@yamatoamerica.com](mailto:wasoperat@yamatoamerica.com)

Illustration by Emi Kikuchi

**企業名:** AMED Washington, D.C. Office

**責任者:** 佐藤 政文



責任者 佐藤 政文

1920 L Street, NW, Suite 303, Washington, D.C. 20036

202-804-4056 [contact\\_dc@amed.go.jp](mailto:contact_dc@amed.go.jp)

[www.amed.go.jp/aboutus/washingtonDC.html](http://www.amed.go.jp/aboutus/washingtonDC.html)

従業員数	4人
他の営業拠点	東京
業務内容	<p>国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)は、日本における医療分野の研究開発とその環境整備の中核的な役割を担う資金配分機関(ファンディング・エージェンシー)として、2015年に設立されました。設立以降、一貫して、医療分野の研究開発関連予算を集約し、基礎から実用化まで切れ目ない研究開発支援を実施しています。</p> <p>AMEDのワシントンD.C.事務所は、2016年11月1日にオープンしました。北米を担当地域として、対象各国の医療関係研究機関との共同事業推進・連携強化のための連絡調整、医療分野の研究開発動向・政策情報の収集・分析、人的ネットワークの構築及びAMEDの情報発信等の活動を行っています。</p>
入会動機	日系企業の皆様とのネットワーキングを強化させていただきたく、入会いたしました。

## 第30回 商工会テニス&ポトラック・パーティー開催報告

企画担当理事



2025年11月8日(土)夕、今年も恒例の「商工会テニス&ポトラック・パーティー」をYMCA Arlington Tennis & Pickleball Center(<https://ymcadc.org/locations/ymca-arlington-tennis-pickleball-center/>)にて開催しました。朝晩は冷え込む季節となりましたが、全天候型インドアコートのおかげで、天候や気温を気にせず、快適かつ安全にイベントを実施することができました。

今年度は約50名の参加者と5名のコーチにご参加いただき、例年同様、テニスとポットラックを通じた交流をお楽しみいただきました。イベントは、まず会場併設のラウンジにてポットラック形式の懇親会からスタートしました。参加者の皆さまそれぞれに持ち寄っていただいた多彩な手作り料理やお菓子、スナックなどを楽しみながら、和やかな雰囲気の中で交流が行われました。毎年好評のこの企画では、「他の家庭の味を楽しめる」「普段食べない料理を味わえる」といった声が多く寄せられました。また、仕事や地域、日常生活に関する情報交換も活発に行われ、テニスに限らず幅広い話題を通じて交流を深める貴重なネットワーキングの場となりました。また、今回は新たな試みとして、参加者の皆さまにネームタグを着用いただき、より交流しやすい工夫を取り入れました。

ポットラック・自由時間の後は全員でコートへ移動し、集合写真撮影の後、ワシントン日本商工会・中村会長(米国三菱重工業 ワシントン事務所長)による開会挨拶と運営側からのルール・注意事項の説明を行いました。







その後、レベルに応じて各コートに分かれ、プレーを開始しました。コートはインドア全8面を貸し切り、そのうち3面ではキッズ向けおよび未経験者・初心者向けのレッスンを実施。上級者コーチによる丁寧で分かりやすい指導が好評で、大人も子供も笑顔でプレーを楽しんでいました。特に子供たちはボールを打つ爽快感やコートを走り回る楽しさに夢中で、時間を忘れて汗を流していました。

残る4面では、中級者から上級者までがペアを組み、ダブルス形式の試合が行われました。レベルの高いラリーが随所で見られ、皆さまの真剣にプレーに臨む姿が印象的でした。また、もう1面は昨年に続き、人気上昇中のピックルボール用専用コートとして開放し、どなたでも気軽に楽しめる場を設けました。ピックルボールは見た目以上に運動量が多く、参加者の皆さまが笑顔で汗をかきながら楽しむ様子がとても生き生きとしていました。約2時間のプレー時間はあっという間に過ぎ、年齢やレベルを問わず、大いに盛り上がりました。



本イベントの開催にあたり、多大なご協力をいただいた商工会関係者の皆さま、またレッスンコーチとしてご尽力くださった皆さまに心より感謝申し上げます。おかげさまで、今年も怪我やトラブルなく、参加者全員に安心して楽しんでいただくことができました。7月のゴルフイベントに続き、スポーツを通じて地域コミュニティのつながりを深める大切さを改めて実感する機会となりました。スポーツだからこそ生まれる絆を大切に、今後もこうした交流の場を継続的に提供していきたいと思います。

ご好評をいただいております本イベントは、来年も秋頃の開催を想定しております。商工会員の方に限らず、どなたでもご参加いただけますので、次回も多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

以上

## ワシントンで働く女性の会(J-WIP)第32回 活動報告

企画担当理事



2025年12月3日、J-WIP(※1)による第32回目のスピーカーイベント「U.S. Trade Policy: Congressional Perspective」(米国通商政策: 議会の視点)は、ワシントンで著名な通商専門の女性団体WIIT(※2)と初めて共同で開催いたしました。

当日は、米連邦議会下院歳入委員会で、民主党首席通商顧問兼通商小委員会スタッフディレクターを務めるアレクサンドラ・ウィテカー氏を講師として迎え、米国の通商政策形成における議会の役割や現政権における通商政策などについて豊富な実務経験に基づく説明をいただきました。また、米保険会社Chubbの政府渉外担当バイスプレジデントで、WIIT代表のサラ・シュレデン氏がモデレーターとして参加されました。

JCAW、WIIT会員等を合わせ、70名近くが参加し、活発な意見交換を行いました。スピーカーイベントに続いて開催したレセプションでは、参加者同士による情報交換などを通じて、JCAW、WIITの二団体間の親睦が深まり、非常に有意義な機会となりました。

ウィテカー氏は2021年、現職に就任。2019年、下院歳入委員会に転職される前は、米国通商代表部(USTR)法律顧問補佐を務め、広範な国際通商案件について法的助言および政策指針を提供したほか、WTOで通商救済および農業関連の紛争を対応されていました。さらに、USTR在任中に、スイス・ジュネーブのWTO米国政府代表部の法律顧問補佐も務め、WTO紛争処理制度改革交渉で米国交渉官を担ったほか、WTO紛争および関連事項において米国政府を代表しました。同氏はスペルマン大学およびハーワード大学ロースクールを卒業されています。

本イベントではまず、同氏が通商専門の弁護士になった背景をはじめ、現在のポジションに至るまでのキャリアが紹介されました。また、その経験を通じた通商分野における女性登用の進展や、次世代人材の育成の重要性等を、会場の参加者と議論されました。

続いて、米国通商政策・通商交渉における議会の役割や、関税交渉における現政権と議会との関係、日本を含む同盟国との二国間合意や、今後の多国間貿易システムの見通しなど、ご自身の経験を踏まえた深い見識を共有いただきました。





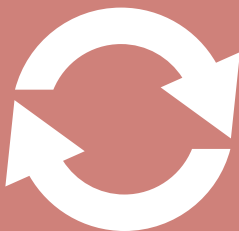
今回のイベントは、米国通商政策形成のプロセスや、その中で議会が果たす役割を理解するだけでなく、議会との関係構築や継続的なエンゲージメントの重要性を確認する良い機会となりました。

(注) 当イベントは原則オフレコでしたが、講師の了承を得た情報を盛り込んでいます。

※1 J-WIP(Japanese Women in the Professions in Washington DC): ワシントン地区で働く日本女性へのキャリア育成支援活動。2016年1月から、ワシントン日本商工会として支援。

※2 WIIT(Association of Women in International Trade): ワシントンD.C.に拠点を置き、国際貿易およびビジネス分野における女性の専門的なキャリア発展を推進するとともに、国際貿易が経済成長に果たす重要な役割への理解促進を目的とする団体。1987年の設立以来、専門能力開発、教育プログラム、ネットワーキング機会の提供などを行う強固なプラットフォームとして活動を継続。

## 登録情報の ご確認、更新をお忘れなく



法人会員、個人会員ともにご登録情報（会員名、電話番号、メールアドレスなど）にご変更がある場合は、お気軽に事務局までメール（office@jcaw.org）にてご連絡ください。

会報やその他の情報がタイムリーにお手元に届きますよう、登録情報の更新にご協力ください！



米国日本通運株式会社は2022年1月より、社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。



**帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください**

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカワシントン営業所まで

**TEL: (703)-661-8326 (日本語ダイヤル)**

**URL: <https://www.nipponexpress.com/moving/us/>**





## 広告募集のご案内

### JCAW会報に広告を掲載しませんか？



広告のイメージ図

JCAWは、ワシントンDCにおける日本人コミュニティの重要な情報発信元であり、商工会議所として地域社会において重要な役割を果たしています。

そんなJCAWの会報を通じて、貴社の広告や宣伝を効果的に発信しませんか？

会報の広告にはリンクを設定でき、クリック一つで貴社のウェブサイトやEメールアドレスにアクセス可能です。さらに、年間契約でお得なプランもご用意しております。

詳細は、ぜひJCAW事務局までお問い合わせください。

#### 料金体系（2026年1月からのレート）

広告掲載先	サイズ	商工会会員		非会員	
		月料金	年料金	月料金	年料金
会報※	1/4ページ	\$65	\$600	\$100	\$860
	1/2ページ	\$130	\$1,200	\$165	\$1,470
	1ページ	\$260	\$2,400	\$320	\$2,880

※ 会報広告 原稿制作費は当広告掲載料金に含まれません。原稿は広告主様にて手配願います。  
1年（1月～12月）契約で1回割り引きとなります。（会報は年10回発行）

#### お問い合わせ先

Japan Commerce Association of Washington, D.C., Inc.  
1819 L Street N.W., Suite 410, Washington, D.C. 20036  
TEL: 202-463-3947 FAX: 202-463-3948  
Email: [office@jcaw.org](mailto:office@jcaw.org) URL: [www.jcaw.org](http://www.jcaw.org)

# ワシントン月報(第215回)

## 「服部自叙伝(4)」

米国特許弁護士 服部 健一

## 前回までのあらすじ

私は幼少の頃はとにかく軽率で無鉄砲だったようで、池に落ちて水の中で気を失ったところをたまたまそばの庭で洗濯していたおばさんに助けられたり、あるいは五日市街道というバス通りに飛び出して車に轢かれて左足を骨折したが河北病院で手術をして完治して、退院後しばらくすると学校仲間と走り回ったりしていた。そのため、これらの事故の事はその後の人生では全く考えもしなかったが、ずっと後で人生の重大な岐路に立った時に非常に重要な判断材料になったのは人生の妙と言えるのかもしれない。ともあれ軽率で勉強嫌いであったために小中学校で手を挙げて発言した事は全くなく、成績は燦燦たるものであったため、大学受験を心配した父の命令で、創立して間もない武蔵工大付属高校へ行かされた。その高校で始めた硬式テニスが私に合っていたようで腕を上げ、高校で東京代表、大学一年で関東大学で2位となり、テニスをバイトで教え始めた。しかし、私がテニスをし過ぎて勉強が疎かになっていることから父にテニス部を辞めさせられ、父が出版した本で国家公務員試験の勉強をさせられたので何とか試験に合格し、自分の意図というより、父の指令で特許庁に就職することになった。



## 6. 特許庁時代

## 6.1 審査官業務

特許庁に入庁すると審査官業務を開始し始めた。要するに企業や発明者の特許出願書類を一件一件読んで先行技術をサーチして、本当に新しい特許技術か、新しい効果があるか否か等を判断して特許登録するか、拒絶するか、補正させるかというような業務であった。当時は高度成長期であったので出願も激増しており審査業務は非常に遅れ、膨大な滞貨があった。そこで数年もすると「集中面接審査」という新しい審査方式が提案され、導入された。大量の特許出願を行っている企業の特許部員ないし発明者に特許庁へ来てもらい、発明内容を説明してもらったうえで出願内容を迅速に理解して先行技術を探して審査を行うと、審査処理の効率は約3倍増加するのである。私は、特許庁上部そして業界の同意を得てから「集中面接審査方式」を担当技術分野で実施。すると、効率はどんどん上がり滞貨はあつという間に減少して、特許庁内だけでなく業界からも非常に評価されたものでの審査業務は非常に順調に進んでいった。



## 6.2 テニスを再開し、人生の将来について迷う

特許庁に入庁すると同時にテニスを再開し、大学2～4年のブランクを取り戻すために必死に練習し、試合をした。その結果、数年すると全官庁ではナンバー1になり、関東社会人大会では3位になった。一方、ダブルス・パートナーであった清水は、学生時代の夢を実現し、テニス・スクールと一級建築士の両方のビジネスで生計を立てており、テニスブームもあって相当の収入があったようで羽振りは非常に良かった。私は清水から依頼されて、週末に彼のスクールでテニスを教えていたが、生徒の得失を考えた上での我々の教え方は非常に人気があった。それは前述したように、生徒の体力、技量、性格等を見極めながら、話し方や教え方を変えるため、非常に分かり易く、上達しやすかったからである。さらに、生徒を小馬鹿にしない態度も良かったらしい。

要するに、テニスも仕事も全ては相手の立場や考え方を考慮した良いコミュニケーションが大切なのである。これが明らかになるのはバレンタインデーとか誕生日の時である。生徒達はチョコレート等を購入して、ハイ、先生、と言って我々コーチにくれるのである。そして一番多く貰ったのは大体私であった。私はとにかく、何故私が？とビックリしたが、同時に受講生達は我々コーチを冷静に評価している、もっと教え方、話し方を工夫しなければダメだ、そしてそれを特許の仕事にも導入して活かそう、と思ったものである。そして、清水がテニス・スクールと一級建築士のビジネス人生なら、私はテニス・スクールと特許庁あるいは弁理士のビジネス人生を考えるべきなのかな、と非常に迷っていた。テニス・ビジネスを色々な角度から考える事は、自分の人生をより深く追求したり分析したりするためにも非常に役立ったものである。

物事を深く分析するという例の1つは、5歳の頃池に落ちて溺死寸前で助けられたが、あの時私を助けてくれた見知らぬお婆さんは何故庭で洗濯していたのか、という点である。もし、庭で洗濯していなかったら私は水の中で気を失っていたので5分後には間違いなく溺死していたはずである。その答は、あの事故は昭和24年の頃なのでまだ日本には洗濯機がほとんどなく庭で洗濯するしかなかったためであろう。そう考えると、私は本当に奇跡的に助かったとも言える。

次に自動車事故であるが、あの事故も私はバス通りに横切って突進して突っ切ろうとして走っていたが、奇跡的にバンパーの真中まで行って当たったので太腿の骨折のみで済み、3ヶ月後には完治して野球やテニスもずっとしてきている。しかし、万が一、突進がわずかに早いか遅くて左右いずれかのタイヤに轢かれたり、車体の下敷きになったりしていれば死んでいたか、障がいが残ってしまう可能性があった事はまず確実である。つまり、これもいかに運が良かったかという事故であった。このように、色々な事象を深く突き詰めて考えるようになったのは、テニス・レッスンを突き詰めるようになってからであり、私にとってテニス・レッスンは人生や仕事を深く考えるきっかけにもなったのである。

## 6.3 父の特許白書(特許庁革命の芽)

一方、父はその頃特許庁の研修所長をして特許学問を益々深く追求して色々な本を出版していたので著名な人物でもあった(父は吉藤幸朔弁理士(故人)と盟友)。そしてちょっとした革命的仕事をしたのである。それは前述したように、特許庁始まって以来の特許白書を初めて発行した事である。それまで特許庁は、出願人や企業に対して良い特許出願をさせる、つまり登録率を改善し、質を向上させる事が主眼であった。これだけでは通産行政と同調したり、サポートするとは言い難い。そこで父は特許出願を技術情報としてとらえて分析し、どういう企業がどういう技術分野を発展させているか、どのような特許訴訟が起こりつつあるか、日本企業と外国企業の出願はどのように異な



るのか、日本企業はどういう技術開発をしなければならないのか、というような観点から、言わば特許情報に基づく技術/産業の技術予測的分析を行う事を提案した特許白書を特許庁で初めて作成したのである。特許出願や特許権は全て技術分類があり、企業、発明者、発明のタイトルといった色々な情報が記載されているので、そういう体系的分析が可能になる。こういう技術予測的業務が出来るとなると、それは通産行政の一旦を担う事にもなる。

この特許白書を書いたプロジェクトチームは父とその下の6人の審査官からなり、私の同期も2人入っていた。これらの6人の審査官達は、その後特許庁の最高ポストの技監か部長になっていった。私は通常の審査とテニスで忙しかつたので、こういう白書作りには一切関与せず、時々真夜中まで働いていた彼等の仕事を冷かして見に行った位であった。父も私の性格を知っているせいか、「お前も手伝え」とは一切言わなかった。従って、特許庁内では本当に変わった親子だな、という評判が立っていたらしい。ともあれ、この特許白書が、それから数年後に生じた若杉長官による特許庁の革命(特別会計の導入による組織革命とコンピュータ審査化等)に繋がるとは私も誰も夢にも考えていなかった。

## 7. 大臣官房企画室

### 7.1 突然の出向命令

特許白書から数年後に私は上司の斎田部長(故人)から呼び出された。いつもは快活な人だがその日は非常に真面目な顔をしていた。訝しげにみると、斎田部長は、「君なあ、テニスばかりしてないで通産本省に行って働かないか？」と言うではないか。

「今まで特許庁審査官で本省に出向して働いた人はいないんじゃないですか」

「その通りいないね。だがそれでは特許庁は通産行政の中に入れない。もっと通産本省と交流しなければだめだ」

「でもどうしてもと誰かを送るなら特許白書を書いた連中がいるでしょう、彼等は特許を良く勉強しているからその内の1人に行かせればいいんじゃないですか」

「いや、彼等は真面目過ぎるから下手するとノイローゼになる可能性がないではない。その点君はテニスをしていて体力抜群だ。君なら大丈夫だろう」

「はあ、それが本当の理由なんですか？ 一体、本省のどこですか」

「大臣官房企画室だ」

「え！そこは総理や通産大臣のためにビジョンを作る室じゃないですか！」

「そうだ、嫌か？」

「嫌も何も、そんなところに私が務まるかどうかという問題ですよ」

「でもなあ、これは今度赴任された三宅長官の命令なんだ」

「というと断れないんですか？」

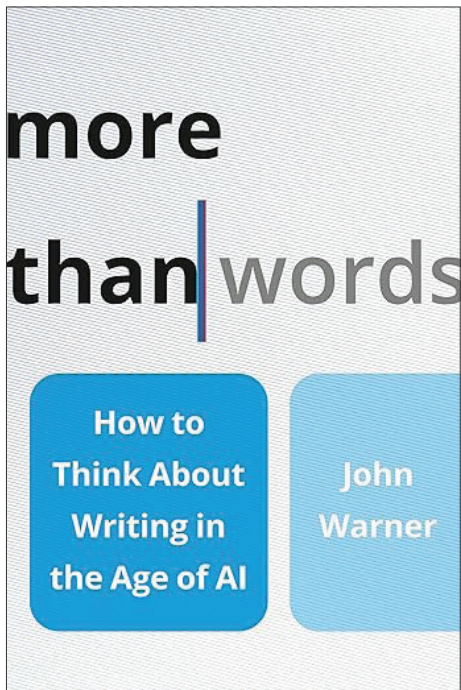
「その通り」

「それを先に言って下さい」

こうして私は特許とは全く関係のない、通産省の産業・経済・技術ビジョンを作る室に突然行かされたのである。1971年の頃だった(続く)。

今月の書籍紹介  
AI本格時代、機械がヒトから奪うものは  
書くことも忘れた人間は  
「言葉だけではない」  
ジョン・ワーナー(アシェット)

ポトマック・アソシエーツ 池原 麻里子



「言葉だけではない」  
ジョン・ワーナー(アシェット)

オープンAIのCEOサム・アルトマンは、人間の知性を圧倒的に超える超知能AIの登場が近未来に迫っていると主張しており、シリコン・バレーには賛同者が多い。一方、AIは線形代数の人種差別主義者の塊に過ぎず、人工的な「知性」は存在しないし、ChatGPTや偏った技術、傲慢な業界リーダーが横暴する国際経済は崩壊間近だと反論する者もある。莫大な資本が生成AIに投資されているが、この技術の能力に対する未解決の疑問から両論が対立しているのだ。

そんな中、イーロン・マスクのAI会社のチャットボットGrokは、同氏が主流メディアへの依存を減らし、「政治的に不適切」な情報で訓練するとアップデートを宣伝した数日後、アドルフ・ヒトラーを呼び起こす反ユダヤ主義的な暴言を吐き始めた。自称「メカヒトラー」。2022年にマスクがTwitterを買収し、Xと改名し、それまで禁止されていたヘイトスピーチのポスティングを容認するようになったことに続く動きである。AIも規制しないと、ソーシャル・メディア同様の結果を生むという例だ。

ChatGPTなどの生成AIは実用され、悪用もされている。最近、ルビオ国務長官の声と文章を模倣し、同長官のふりをしたメッセージが外国の大臣や米国の州知事、連邦議員に送られるという事件があった。全米摂食障害協会は、人間のカウンセラーをチャットボットに代替して、7万以上の契約に対応させた。しかし、自己学習した結果、摂食障害を促進するようなアドバイスをし始めたという。ある弁護士はChatGPTを利用して準備した訴状に、実在しない判例を記載したため、裁判官から罰金を科された。生徒が生成AIを利用して、作文やテスト回答を用意することが増えており、教師もその対応に時間を費やされるようになっている。

このように、現代社会はまだまだ生成AIとの付き合い方を模索中だが、本書の副題は「AI時代に文章をどう考えるか」。著者は文筆家、作文の教師で、本書では人間として文を書く意味について思考している。

生成AI時代、作文はプロンプトをタイプすれば完成するようになった。しかし著者は、それは文章術上、あまり意味のないことだと指摘する。作文という行為は、その過程で思考し、その考えを紙の上(モニター上?)に記そうとする間にアイデアと感情を発見し、人間であることの意味と向き合うことだという。そしてAIが浸透しつつある今こそ、人間として文章を書く意味について見直す良いチャンスだと提案している。

生成AIは、大規模言語モデルに過ぎず、思考も感情も経験もないし、真実、正確さを判断できないし、訓練された言語のパターンに基づいて次の文言を予測しているだけで、人間の知能を代替するものではないと著者は指摘する。

そして、生成AIとの共存の仕方について、こう提案する。①抵抗:生成AIを利用する際に、根本的価値観を保護。②更新:生徒がChatGPTに依存するのは短期・長期的にその宿題が無意味だからだ。メディアも、市場の需要と文章作成のバランスをとる必要がある。③模索:生成AI技術がどのように役立つのか理解し、特に教育では有害にならないように利用せねばならない。

生成AIにはリサーチ、サマリー、クリエイティブ・ライティング、ブレインストーミングなど、専用のアプリが登場した。が、効率は幸福な人生を導く原理ではない。執筆行為は時間を要するし、その過程は校正、思考と感情を伴うのだと著者は訴える。

(NEW LEADER 2025年8月号より転載)





## English Rescue by Jennifer: 「Language and Culture」

ジェニファー・スワンソン

---

### Hot Topics – Famous Christmas Songs

In 2025, with a change in administration and a wave of executive orders, federal court challenges are happening at multiple levels. To help make sense of this system, this year we focused on the U.S. Constitution, its amendments, and key Supreme Court cases that have shaped how laws are interpreted and how Americans understand their rights.

We covered the U.S. Constitution, including its 27 amendments, the system of checks and balances, the seven articles that establish the government, and key principles such as Judicial Review, Amendments 2, 5 and 14, and *Plessy v. Ferguson* and *Brown v. Board of Education*, and the *Citizens United Case of 2010* plus 2 related cases related to a women's rights to make her own medical decisions.

I'd like to finish 2025 on a lighter note by introducing a few classic Christmas songs! I'm sure you know a lot of them, but maybe you don't know the history or meaning behind the songs.

Starting the day after Thanksgiving, 97.1FM plays Christmas music 24/7 to get us in the spirit of Christmas!

Here are three of the most popular oldies:

**“White Christmas”** is an Irving Berlin song, reminiscing about an old-fashioned Christmas setting released in 1942. Irving Berlin was born Israel Beilin in modern day Belarus and immigrated to the US with his family in 1893. The Berlins were one of hundreds of thousands of other Jewish families who emigrated to the United States in the late 1800s and early 1900s, escaping discrimination, poverty and brutal massacres of Jews in Eastern Europe. Yes! That's right! The most famous Christmas song ever was written by a Jew! According to the Guinness Book of World Records, the version sung by Bing Crosby is the world's best-selling single with estimated sales in excess of 50 million copies worldwide. Growing up outside of Los Angeles, I always dreamed of a White Christmas and after moving to VA, my dream came true in 2002 when we had snow on Christmas Day! But the odds are against having a white Christmas in DC, only 10% of Christmases have had snow on the ground.

[Watch and listen to White Christmas here!](#)





## 12月号 編集後記

本年も師走を迎え、ホリデーパーティや忘年会などで皆様お忙しくされていることと思います。夜の外出が多くなる季節ですが、寒さも厳しくなっていますので、体調管理には十分に気をつけましょう。

個人的にはこの1年はとても長く感じられました。1月の大統領就任式に始まって、毎日大統領の一挙手一投足に振り回され、関税交渉の行方にやきもきする期間も相当長かったように思います。来年も、日本企業にも大きな影響があるUSMCA見直し交渉や、中間選挙に向けた動きなど、忙しい日々が続くことは覚悟していますが、せめて年末年始くらいは大きな仕事が発生することなく、平穏な時間を過ごせるように願うばかりです。

本年も商工会活動へのご参加、ご支援、まことにありがとうございました。年末年始に日本にご帰国される方々もいらっしゃるかと思います。ご家族、ご友人と一緒に良いお年をお迎えになられることを祈念いたします。

岡崎・岡本

---

会報に関するお問い合わせにつきましては、[JCAW事務局](#)までご連絡ください。

---